

令和5年 10大ニュース

項 目	
1	<p>日本各地からティラノサウルスが集合！丹波竜の里でティラノサウルスレースを開催 【総務防災課（ビジョン・丹波の森担当）】【地域共創課】【丹波年輪の里】</p> <p>10月15日、丹波地域では初となるティラノサウルスレースを開催。約150体が県立丹波年輪の里の芝生広場を疾走した。イベントを運営する実行委員会には「たんばユースチーム」も参画し盛り上げに貢献した。</p> <p>恐竜サポーターは12月現在929人。レースに合わせて開催したモバイルスタンプラリーでは300人以上が登録した。また、恐竜化石の発掘体験を地域内外で12回実施するなどアウトリーチ活動にも取り組んだ。</p>
	<p>JR加古川線維持・利用促進プロジェクト「JR加古川線リレーマルシェ」が始動 【総務防災課（企画防災担当）】</p> <p>近畿で最も利用状況が厳しいJR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）の利用促進につなげるため、丹波県民局では、今年度から加古川線各駅で平日夜にマルシェを開催する「加古川線リレーマルシェ」の取組をスタートさせた。</p> <p>県民局ユースチームと久下自治振興会が主体となり8月22日には「久下村夜市」を実施し、電車での来場者約270名を含め、約600名が来場する賑わいを見せた。12月22日には谷川夜市の開催も予定している。</p>
3	<p>兵庫県・丹波地域合同防災訓練等により地域防災力が向上 【総務防災課（企画防災担当）】【健康福祉事務所】</p> <p>兵庫県が各市と地域持ち回りで実施している合同防災訓練が、9月3日、平成29年度以来7年ぶりに丹波で開催された。丹波県民局も人命救助セット等防災資機材の展示、救援物資搬送、道路啓開訓練を行うほか、丹波健康福祉事務所内では、合同防災訓練では初めてとなる「地域保健医療情報センター」立ち上げ訓練を実施した。</p> <p>その他、6月には、丹波健康福祉事務所・市・関係機関の参加の下に、広域停電を想定した筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の避難訓練を実施し、課題を災害時個別支援計画策定に活かすなど、災害時の対応力を強化している。</p>
	<p>万博に向けた取組がスタート！ 【総務防災課（企画防災担当）】【陶芸美術館】</p> <p>大阪・関西万博に向けて「グローバル丹波推進会議」がスタート。丹波地域フィールドパビリオンコンテンツ提供団体（令和5年12月1日現在18コンテンツ）がコアメンバーとなり、両市・観光協会・関西経済連合会などのオブザーバーが参加し、地域・団体間の連携を進めている。そのほか、兵庫陶芸美術館が窯元路地歩きガイド研修等で協力するプレミアム・プログラムの1つである丹波焼の里では、丹波立杭陶磁器協同組合が「陶泊」モニターツアーを実施するなど万博を見据えた誘客施策が進められている。</p>
5	<p>「シリ丹バレー構想」が2年目に突入。様々な事業を展開 【地域共創課】</p> <p>分科会「丹波ウッドバレー・プロジェクト」が始動したほか、「たんば女性起業家ネットワーク」ではメンバー6名が9月に訪米し、海外展開にも取り組んだ。</p> <p>ビジネス関連事業にも着手し、地域ビジネスの仕組みづくりをめざす「丹波型事業共創コミュニティ形成事業」、若者の起業家精神醸成プログラム「たんばStartup Lab」を新たに展開。</p> <p>6月に関西経済連合会職員が2週間丹波地域に滞在し、地域住民延べ約100名との交流したほか、8月にスタートアップ企業と農業士の交流による先進技術と地域のマッチングを実施するなど関経連との連携も強化した。</p>

6	<p>三宝ダム貯蔵酒 3酒蔵の Hyogo Sake 85 銘柄が出そろい売れ行き好調 【産業振興課】【普及センター】</p> <p>竹田川源流の一つ三宝ダムの管理トンネル内は、温度が通年 15 度と一定しており酒の熟成に最適であることから、同水系の水を使っている管内 3 酒造メーカーと連携し、兵庫県が開発した酒米新品種の「Hyogo Sake 85」等を原料とした日本酒を貯蔵・熟成させている。3 年目となった今回は、丹波市の 3 酒蔵（山名酒造・西山酒造場・鴨庄酒造）すべてが「Hyogo Sake 85」を使用し、貯蔵本数は 2,010 本となった。10 月 14 日の道の駅丹波おばあちゃんの里での販売 PR イベントでは、丹波焼のぐい呑みプレゼントや日本酒の試飲会、日本酒入り饅頭の試食会を実施した。</p>
7	<p>地域の交流と暮らしを支える道路整備が進む 【土木事務所】</p> <p>7 月には、県道西脇篠山線味間南バイパス（延長 1.1km）が完成し、大型車等の通過交通がバイパスに転換し、道路幅員が狭小な集落内の安全性が向上した。</p> <p>9 月には、県道稲畑柏原線萱刈峠（延長 0.6km）の改良工事が完成し、峠部の標高を約 7 m 下げ勾配を緩くして見通しを良くするとともに、路肩を広げ自転車や歩行者の通行空間を確保した。</p> <p>12 月には、令和 8 年度の完成に向けて大規模な国道 429 号榎峠トンネル（仮称）工事を発注するなど地域の交流や安全に通行ができ日々の暮らしを支える道路整備を進めている。</p>
8	<p>「安全・安心」な暮らしを支える防災工事が進む 【土木事務所】【農林振興事務所】【篠山土地改良事務所】</p> <p>黒井川では、河川拡幅工事を進め、2 月に篠林橋架替工事が完成した。また、砂防事業 3 箇所、急傾斜地崩壊対策事業 5 箇所において事業着手するとともに、丹波市内の 3 箇所の工事が完成した。</p> <p>さらに、災害に強い森林の再生に向け、大雨時の土砂の流出を防ぐ治山ダムの設置や山腹工事など、新たに 9 箇所の事業に着手するとともに、丹波篠山市 2 箇所、丹波市 8 箇所の工事が完成した。ため池については、決壊等の被害防止のため、新たに 4 箇所の改修事業に着手するとともに、丹波篠山市 3 箇所、丹波市 1 箇所の工事が完成するなど、地域の安全・安心を確保し、県民の「いのちとくらし」を守るため、河川の改修、土砂災害対策および農山村の防災減災対策を推進している。</p>
9	<p>高校生等のまちの居場所づくり「放課後みちくさプロジェクト」本格実施 【土木事務所】</p> <p>(株)まちづくり柏原が運営する「柏原スタジオ」を高校生等に開放することにより、地域の方々をはじめとした多様な人々の交流や活動の拠点として活用している。</p> <p>8 月に柏原中学校及び柏原高校の生徒と関西学院大学生との交流会を開催するとともに、11 月には初の試みとなる柏原高校生による部活動の発表の場として、「プチ演奏会」を開催した。演奏会には約 30 人の観客が集まり、地域の人たちとの交流の場になるとともに、まちの賑わいを創出した。</p>
10	<p>丹波の森構想の拠点施設リニューアル 【丹波の森公苑】【ささやまの森公園】【並木道中央公園】【丹波年輪の里】</p> <p>兵庫丹波の森協会が運営し、丹波の森構想の拠点となっている丹波の森公苑がリニューアルオープン。多様な働き方や新しいライフスタイルなどに対応する自由な活動スペースとして「コワーキングスタジオ」と「キッチンスタジオ」を備える「里山スクエア」をオープンするとともに、建物設備の長寿命化、ホール天井耐震化工事、テニスコートの全面改修を実施した。</p> <p>同協会が管理する丹波年輪の里ではコロナ禍が明け、アートクラフトフェスティバル等の大型イベントが復活。丹波並木道中央公園では、4 年ぶりに「丹波なみきみちまつり」が開催され、過去最高となる約 9 千人の来園者があった。また、ささやまの森公園では絶滅危惧種の渡り鳥ヤイロチョウの繁殖が見られ、全国から多くの野鳥ファンが来園した。</p>